

各 位

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

株式会社脱炭素化支援機構への出資について

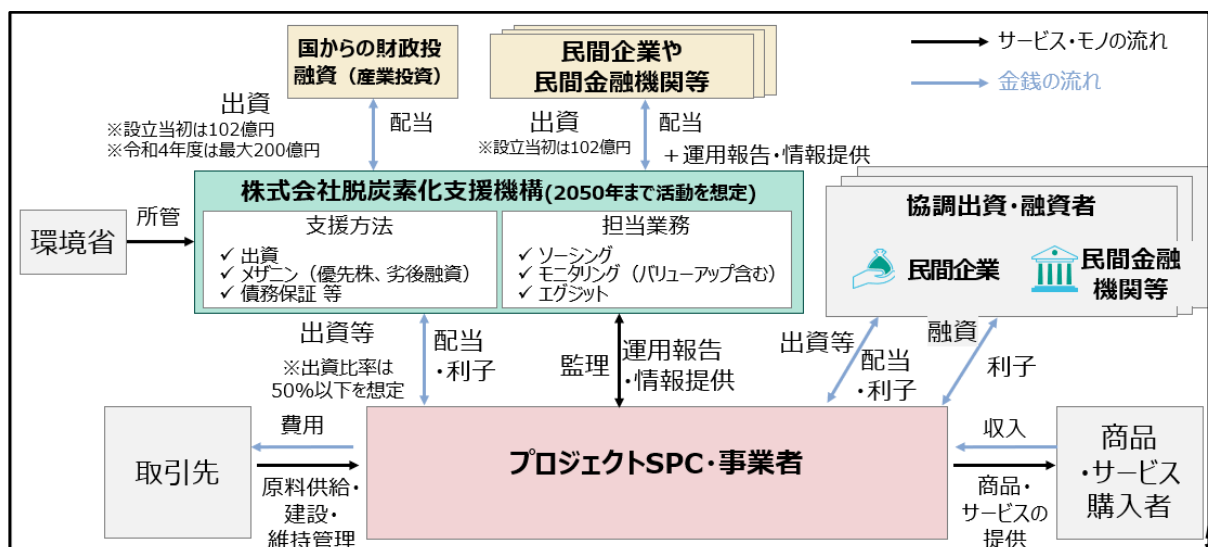
「金融にも強い総合サービス業」を将来像に掲げるきらぼしグループの株式会社きらぼし銀行（取締役頭取 渡邊 壽信、以下「きらぼし銀行」といいます。）は、下記のとおり、脱炭素事業に意欲的に取り組む民間事業者等を集中的・重点的に支援することを目的に設立された株式会社脱炭素化支援機構（代表取締役社長 田吉 禎彦、以下「脱炭素機構」といいます。）に出資いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 脱炭素機構について

パリ協定締結による国際的な脱炭素化の加速や SDGs の浸透、政府の「2050 年カーボンニュートラル宣言」などを背景に、持続可能な地域社会をつくるためさまざまな取り組みが求められています。しかし、その実現には、地域だけでなくオールジャパンで、官民一丸となって取り組むことが重要です。脱炭素機構は、国の財政投融资と全国の民間からの出資を原資として、脱炭素に資する多様な事業への投融资（リスクマネー供給）を行い、脱炭素に必要な資金の流れを太く、速くし、経済社会の発展や地方創生への貢献、知見の集積や人材育成など、新たな価値の創造に貢献します。

【株式会社脱炭素化支援機構スキーム図】



■脱炭素機構の概要

名 称	株式会社脱炭素化支援機構 英語名称：Japan Green Investment Corp. for Carbon Neutrality (JICN) (ジェイ・アイ・シー・エヌ)
代表取締役社長	田吉 禎彦
創 立	2022 年 10 月 28 日
資 本 金	設立時 204 億円 (民間株主 102 億円・財政投融资(産業投資)からの出資 102 億円)
所 在 地	東京都港区虎ノ門 1-1-12 虎ノ門ビル 9 F

2. 出資の背景

きらぼしグループは、企業の社会的責任を踏まえた対応を行うべく、従来より気候変動や脱炭素化社会への対応を最優先課題の一つとして取り組んでいます。温室効果ガスの排出量を 2030 年度までに 60%削減(2013 年度比)することを目標値として定め取り組む一方、地域のお取引先に対しては、気候変動や脱炭素対策の必要性に対する啓蒙・促進を図るとともに、ワンストップでさまざまなソリューションを提供できる体制の整備を進めています。

こうした中、当社グループは脱炭素機構が設立された目的に賛同し、同社が我が国の脱炭素化をより一層推進する力となることを期待するとともに、その一翼を担うことが地域金融グループの役割であると考え、同社に出資いたしました。

きらぼしグループは今後も、行政などと連携し、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の視点を取り入れた投融资の積極的な推進により、中長期的な企業価値向上、ひいては経済・社会の持続的成長に貢献してまいります。

以 上